

## 日本鐵道企業的觀光經營研究\* 日本志摩西班牙村的優勢與隱憂

劉伯雯

國立高雄第一科技大學 應用日語系

### 摘要

日本的鐵道企業很多不只是運輸部門，而是以擁有不動產，流通和觀光部門等綜合企業的形態帶動著日本經濟。觀光的成敗在於交通與宣傳，而頻繁使用鐵道系統於通勤的日本社會，電車車箱中懸掛的廣告看板即具有宣傳的效果。此外，因擁有鐵道、公車或索道等的交通機構，於交通手段而言鐵道企業參與策劃觀光，在觀光經濟發展上佔有極大的優勢。

而伊勢地方，從江戶時代即開使盛行伊勢參拜。為世界最早的套裝旅遊，並且是日本少數傳統的觀光勝地。日本志摩西班牙村是近畿日本鐵道公司配合『綜合保養地域整備法』（1987年實施，通稱休閒地法）以及得到三重縣志摩郡磯部町（現志摩市）的協助所開發的設施，它是以主題樂園為主，並結合了飯店、天然溫泉等三種設施所構建，屬於日本主題樂園第3期的設施。其名稱出自於志摩是充滿陽光的地方，及具有太陽形象的西班牙。

此外有關聯合地方政府，民間合作的第三部門方式，雖在土地的取得上佔有優勢，但經營轉換的困難性以及經營窘境時的對應顯得愈艱難。再者，有關漁業權等當地居民的權利，在地方公共團體、第三部門方式中仍存在著無法提出有效方案的隱憂。

**關鍵字：鐵道企業、觀光、日本志摩西班牙村、非營利團體**

\* 此文是由住友財團 2008 年度「亞洲各國相關日本研究補助」之協助下所完成的調查。並依於 2010 年台灣日本語言文化研究國際學術研討會上發表之論文加以潤飾，修改完成。

## 日本鉄道企業の観光経営研究\* 志摩スペイン村の光と影

劉伯雯

国立高雄第一科技大学 応用日語系

### 日本語要旨

日本の鉄道企業の多くは、運輸部門だけではなく、不動産、流通そして観光部門などを有する総合企業として日本経済を牽引してきた。観光の成否は、交通と宣伝にあるが、通勤に鉄道システムを多用する日本社会にあっては、電車車中の中吊り広告は極めて効果的である。また、鉄道やバス、場合によってはロープウェーなどの交通機関を有しているため、交通手段としても鉄道企業の参画する観光では極めて優位である。

伊勢地方は、江戸時代から伊勢参りとして世界的にも最古のパッケージツアーが行われていた伝統がある日本有数の観光地である。志摩スペイン村は、近畿日本鉄道が、『総合保養地域整備法』（1987年施行、通称リゾート法）に合わせ、三重県志摩郡磯部町（現志摩市）の協力を得て開発した施設で、テーマパークを中心に、ホテル、天然温泉の3施設で構成されている日本テーマパーク第3期に属する施設である。志摩は太陽あふれる場所であり、太陽のイメージのあるスペインの名を付けたのである。

地域と連携した第三セクター方式では、土地の取得に利点があるという光の部分もあるが、経営の転換が難しく、経営困難時の対応が難しくなってくる。また、漁業権など地元住民の権利に関しては、地方公共団体、第三セクターでは有効な解決策を打ち出せないなど影の部分もあった。

**キーワード:** 鉄道企業、観光、志摩スペイン村、第三セクター

---

\* 本稿は、2008年度住友財団「アジア諸国における日本関連研究助成」の助成により作成され、2010年台湾日本語文化研究国際学術シンポジウムでの口頭発表に加筆、訂正したものである。